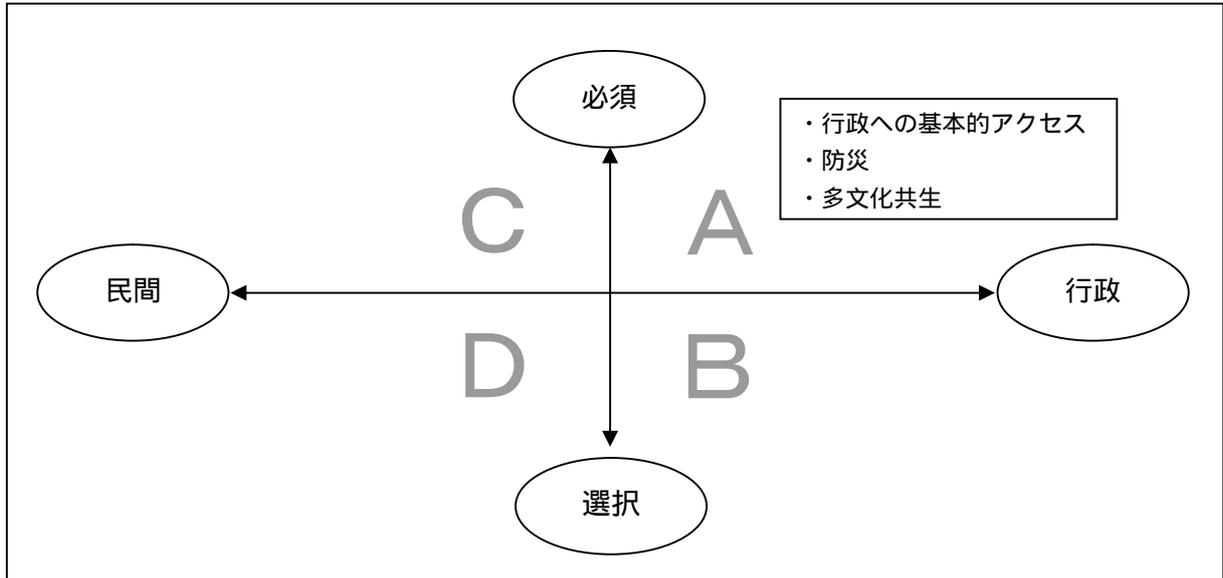


(表1) 行政と民間の役割分担 (必須的事業、選択的事业)



(表2) 必須的・選択的の例示

	事業の性格	行政	民間(市民)
A 行政 (必須)	行政として必ず実施しなければならない基本的な事業	<ul style="list-style-type: none"> 行政への基本的アクセスの確保 (外国人住民 行政) 多文化共生施策 (市民啓発等) 防災のための施策 	<ul style="list-style-type: none"> 行政への協力と連携
B 行政 (選択)	<ul style="list-style-type: none"> 行政主導事業 資金的、人的に余裕があれば実施することが望ましい事業 	<ul style="list-style-type: none"> 姉妹都市交流 外国人市民会議 留学生支援事業 地域国際協力 「国際交流のための基金」創設 	<ul style="list-style-type: none"> 行政への協力と連携
C 民間 (必須)	民間が必ず実施しなければならない事業	<ul style="list-style-type: none"> 民間事業主体への支援 市民啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 外国人市民の地域社会への受け入れ 外国人市民への差別、偏見の除去
D 民間 (選択)	<ul style="list-style-type: none"> 民間主導事業 資金的、人的に余裕があれば実施することが望ましい選択的な事業 	<ul style="list-style-type: none"> 民間事業主体への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 外国人への語学教室 外国人への市民ガイド ホームステイ受け入れ 地域国際協力への協力 「国際交流のための基金」への寄付

む 1 週間を作る。

- 新たな姉妹都市等の検討 B
- 芦屋市長による「国際交流市民貢献者表彰」 B

(2) 多文化共生社会の構築

- 行政窓口における多言語対応（市民ボランティアの協力等） A
- 医療機関、学校等における多言語対応（市民ボランティアの協力等） A
- （外国人の）行政情報へのアクセスの容易さの確保
- ・外国語での情報提供（ホームページ、広報、窓口での配布資料等） A
- ・封筒に多言語で「芦屋市役所」の文字を入れる
（「市役所からの郵便物がDMと間違われ捨てられないよう」） A
- 案内標識・公共サインの多言語表記（ピクトグラムの活用） A
- 「外国人市民会議」の設置 外国人市民の意見を汲みあげる場 B
- 在住外国人意識調査の定期的実施 B
- 国際的施策への市民の外部的チェックシステムの構築 B
- 芦屋市国際交流基金「国際交流のための基金」の創設・・・市民からの寄付の受け皿等 B
- 「三者間通話システム」の構築（市民ボランティアの協力等） A
- 市職員の国際理解、外国語研修 A
- 外国人児童・生徒の学習言語能力向上（母語教育等）
（市民ボランティアの協力等） B
- 外国人への日本語学習支援教室（市民ボランティアの協力等） D
- スポーツ大会の開催 D

(3) 地域国際協力 「地球市民」としての「地球への貢献」

- 「地域国際協力事業」
- ・市民活力を導入し市民と市が連携して行う国際協力 B, D
- ・外務省、自治体国際化協会(CLAIR)、国際協力機構(JICA)等との連携による実施 B, D
- ・地球市民として地球的諸課題解決に貢献 B, D
- ・市が平素の行政で培ったノウハウ、育成した人材で国際協力
（消防、上下水道、病院、行政等） B
- 海外研修生の受け入れ(医療・福祉・教育等) 市立芦屋病院等 B
- 上記推進のための開発教育、国際理解教育、市民啓発 A, C
- 若者の参画促進 C